

ソーラーベース



ソーラーベースの特長

1. 支柱固定インサートの規格・本数は、取り付け支柱の仕様に合わせて変更できます。
2. ワンタッチ式の専用吊具（Vハンガー）を使用することで、施工性を向上できます。
3. 即時脱型製品のため200個/日の製造が可能です。
4. 保水性 0.15g/cm以上のコンクリート製品のため、降雨時に水を貯え、温度低下の機能が期待できます。

基礎ブロック設置状況



インサート固定状況



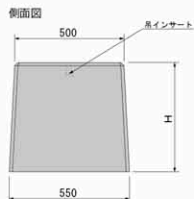
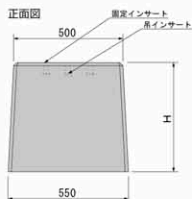
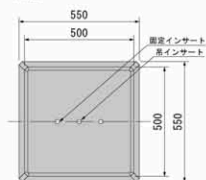
500×500 H500（前後使用）



単体図

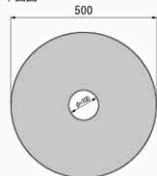
500-500型

平面図



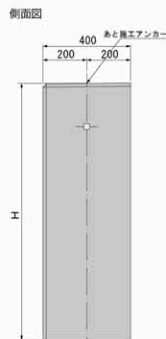
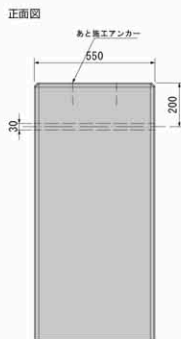
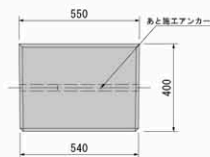
ため池用

平面図



550-400型

平面図



※固定インサートの個数、規格および寸法は変更できます

| 呼び名 | 参考質量 (kg) | 価格 (円) | 寸法(mm) | コンクリート体積 (m ³ /個) | 備考 |
|----------------|--------------|-----------|--------|---------------------------------|----|
| | | | H | | |
| 500×500 H 300型 | 180 | | 300 | 0.082 | |
| 500×500 H 400型 | 240 | | 400 | 0.110 | |
| 500×500 H 500型 | 300 | | 500 | 0.138 | |
| 550×400 H 940型 | 460 | | 940 | 0.210 | |
| 550×400 H1170型 | 560 | | 1170 | 0.258 | |
| ため池用 | 80 | | 200 | 0.037 | |

※即脱保水コンクリート 22kN/m²

据付歩掛表

400kg未満

10個当り

| ソーラーベース (個) | 世話役 (人) | 特殊作業員 (人) | 普通作業員 (人) | バックホウ (h) | 諸雑費 (%) |
|----------------|------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| 10.00 | 0.07 | 0.04 | 0.04 | 0.89 | 2.00 |

400kg以上

10個当り

| ソーラーベース (個) | 世話役 (人) | 特殊作業員 (人) | 普通作業員 (人) | バックホウ (h) | 諸雑費 (%) |
|----------------|------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| 10.00 | 0.14 | 0.04 | 0.21 | 1.23 | 2.00 |

ソーラーベース

紹介

河川

暗渠・防火水槽

下水道

道路

擁壁

水路

その他

●鋼製フレーム架台により勾配の変化を行う工法

1. 架台結合用インサートをあらかじめ製品に取り付けることができます。
2. ワンタッチ専用インサートを使用することで施工性が向上します。
3. 風力計算によりH300・H400・H500の3タイプから選択できます。

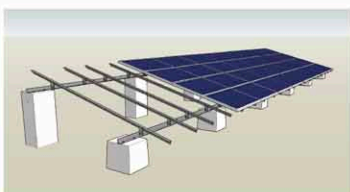
施工例



●基礎ブロックにより勾配の変化を行う工法

1. 前後の基礎ブロックの高さを変えることで、鋼製フレーム架台を減少させ、材料費・組立て費を減少させることができます。
2. 前部に500×500 H500型を使用し、後部に550×400H940型・H1170型を使用することで、取付角度を 10° ・ 15° に設置することができます。
3. 基礎ブロックの重量が増加することで、風力計算に対して有利となります。

施工例



施工例

500×500 H 300 (前後使用)



ため池用



風力計算

風荷重の計算

$$\text{風圧荷重 } W = C_w \cdot q \cdot A_w$$

風力係数 $C_w = 0.71 + 0.016 \theta$

※地上設置(単独) 逆風(負圧)

設計用速度圧 $q = 0.6 \times V_0^2 \times E \times I$

V_0 : 設計用基準風速(建築基準法施行令より)

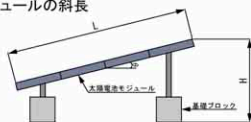
E : 環境係数(建築基準法施行令より)

I : 用途係数(1.0)

受風面積 $A_w = B \cdot L$

B : 基礎ブロックの設置幅

L : モジュールの斜長



必要質量の算出

$$m = \frac{W}{g} - (m_p n_p + m_f)$$

m : ブロック1組の必要質量

g : 重力加速度

m_p : パネル1枚の質量

n_p : 1スパンのパネルの枚数

m_f : 1スパンの架台の質量

